

南海トラフ地震への対応



海上自衛隊 第24航空隊

海上自衛隊第24航空隊の概要



【主な役割】

- 航空機の運用
防衛警備、災害派遣、
国際平和協力等
- 航空機の整備
- 飛行場の運営
航空管制、気象支援、
地上救難等



保有航空機「SH-60J型哨戒ヘリコプター」

最大速力：時速265Km 重量：約10ton
大きさ：長さ19.8m、幅16.4m、高さ5.2m
装備品：各種センサー、ホイスト(人命救助用ウィンチ)

【近年の災害派遣実績】

地震・津波被害状況偵察、行方不明船舶・航空機の捜索

(26.5.1 現在)

年度	内容	派遣航空機数
平成20年	水上バイク乗員捜索	1機
	行方不明漁船の捜索	延11機
	墜落情報による当該航空機の情報収集	1機
平成21年	行方不明漁船乗員の捜索	延5機
	行方不明船(プレジャーボート)捜索	延3機
	津波被害状況偵察(チリ沖地震)	延2機
平成22年	津波被害状況偵察(東日本大震災)	4機
平成23年	地震被害状況偵察(和歌山北地震)	1機
平成25年	地震被害状況偵察(淡路島地震)	1機
	地震被害状況偵察(松山沖地震)	1機



東日本大震災における活動

期間:平成23年3月13日~4月4日

- 任務:① 被災者捜索・救助
② 救援物資の輸送
③ 離島への医官の巡回診療支援

兵力: SH-60J 2機、搭乗員12名

(護衛艦搭載・館山航空基地派出)

その他:小松島基地体育館への基地近隣住民
一時避難の受入



艦上からの救援物資積み込み



離島(宮城県島しょ部)への救援物資輸送



津波に伴う被災状況の確認

3

南海トラフ地震対処

〔自衛隊の対処構想〕

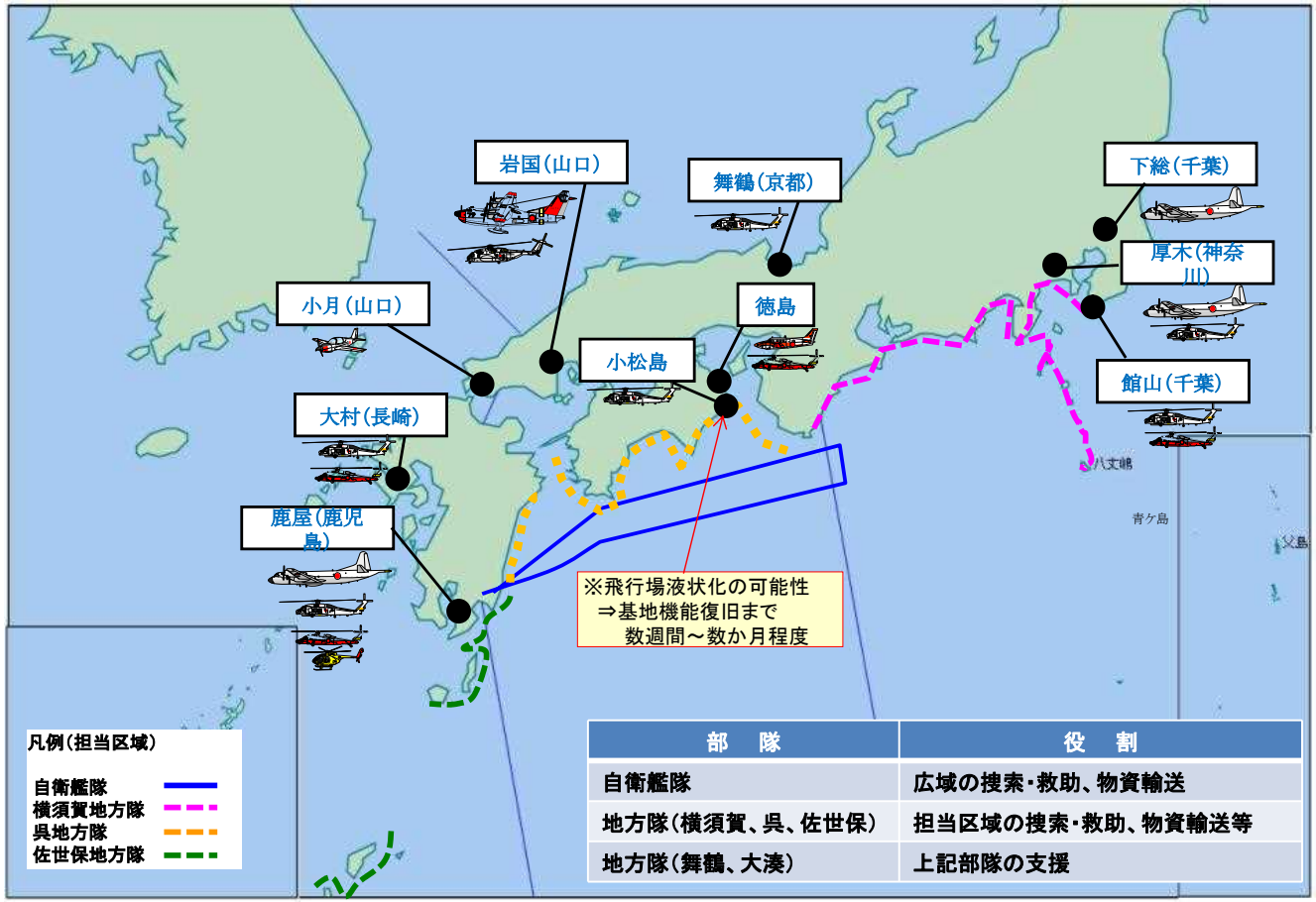
段階的な対処(より組織的・有機的に)

- 当初、各部隊による災害派遣
- 大規模震災災害派遣
- 統合運用(陸・海・空自衛隊の効率的な運用)

〔第24航空隊の主な対応〕

- 被害状況偵察／人命救助
- 人員物資空輸
- 艦艇部隊へのヘリコプター派出
- 基地機能回復

航空機による情報収集等の例(イメージ)



艦艇による活動の例(イメージ)

